

各市町村の総合型地域スポーツクラブに係る課題

(令和5年度 第1回地域スポーツ推進会議分科会記録より)

第1分科会：「人材の確保と拠点施設の確保について」

- ・総合型クラブを運営する方々が高齢化しているが、世代交代が難しい。
- ・部活動地域移行にあたって、専門的な知識をもつ若い指導者の確保が難しい。
- ・体育施設は、長年、使用する団体が決まっており、総合型クラブや部活動の地域移行等、新しい団体が入ることは難しい。
- ・地域の指導者は指導できる時間帯が同じであるため、施設使用で競合し、なかなか施設を使えない。

第2分科会：「人材の確保と会員の確保について」

- ・自治体職員がクラブに携わっているが、異動があるため資格取得まで至らない。(長く携わることができる人材が必要)
- ・小学生の会員は増えたが、親世代の会員の確保が課題である。
- ・安定した収入源の確保はどうしたらよいか。

第3分科会：「人材の確保と会員の確保について」

- ・総合型クラブに関わる人(運営、指導者、会員)の高齢化が課題である。
- ・総合型クラブで部活動地域移行を考えると人材(指導者)がいない状況である。
- ・少子高齢化、人口減少、新型コロナの影響により会員が減少している。
- ・市から委託されている指定管理業務に手一杯となり、本来の事業が思うようにできていない。

第4分科会：「人材の確保と地域スポーツ団体との連携について」

- ・人件費がかかるが、市町村からの委託金が減ってきている。
- ・総合型クラブに業務をお願いしているが、業務過多により行政に仕事に戻ってきている。
- ・部活動の地域移行について、総合型クラブやスポーツ少年団が市の会議に参加できない。
- ・総合型クラブ、スポーツ少年団、部活動などを一本化するにはどうしたらよいか。

第5分科会：「総合型クラブの創設や再開等について」

- ・総合型クラブのメリット、とくに首長を説得させるだけのメリットがないと設立は難しい。
- ・総合型クラブ設立に当たり、運営の核となる人やクラブマネージャーを引き受けてくれる人がいない。
- ・スポーツイベント自体に参加する住民が減少している。

第6分科会：「総合型クラブの創設や再開等について」

- ・各競技で活動地盤が整っているため、新たに総合型クラブを整備する必要があるのか悩んでいる。
- ・新たに総合型クラブを立ち上げた場合、既存の地域スポーツ団体と会員の取り合いになり、地域の関係が崩れてしまう。
- ・子育てや高齢者向け事業等、スポーツ以外も行えるようだが、社会福祉協議会等の他団体との事業の棲み分けが難しいと考える。